



ファームウェア バージョン :	R1.60.B025	
ハードウェアバージョン :	DGS-1510-20	A1
	DGS-1510-28	
	DGS-1510-52	
	DGS-1510-28P	
	DGS-1510-28X	A1/A2
	DGS-1510-52X	
	DGS-1510-28XMP	A1
発行日 :	2019/8/6	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
アップグレード時の注意事項 :	2
アップグレード手順 :	3
追加機能 :	8
MIB の変更点 :	8
D-View モジュールの変更点 :	8
コマンドラインインタフェースの変更点 :	8
修正した問題点 :	9
既知の問題 :	9

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
R1.60.B025	2019/8/6	DGS-1510-20	A1
		DGS-1510-28	
		DGS-1510-52	
		DGS-1510-28P	
		DGS-1510-28X	
		DGS-1510-52X	A1/A2
		DGS-1510-28XMP	A1

変更履歴	
2019/8/6	初版リリース
2019/9/26	コンフィグ互換性に関する制限事項の説明を修正（“アップグレード時の注意事項”及び“既知の問題”）
2019/10/10	スタック構成における時刻同期の不具合に関する修正の記載を削除（既知の問題に追記）

アップグレード時の注意事項：

ファームウェアのアップグレードを行う際に TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

R1.50.B029 及びそれより古いバージョンをご利用の機器に、R1.60.B025 の設定を読み込むことができませんのでご注意ください。

- R1.60.B025 から R1.50.B029 及びそれより古いバージョンへのダウングレードにおいて設定を引き継ぐことができません。
- R1.50.B029 及びそれより古いバージョンをご利用の機器に、R1.60.B025 のコンフィグをリストアすることができません。

※R1.50.B029 及びそれより古いバージョンから R1.60.B025 へのアップグレード時の設定の引継ぎは問題ありません。

アップグレード手順：

ファームウェアアップグレードは、CLI または WebGUI から実行することができます。

CLI を使用するアップグレード

1. スイッチの電源を切り、RS-232 ケーブルで PC とスイッチのシリアルポート（コンソールポート）を接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。（本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。）
 - ボーレート：115200
 - データビット：8
 - パリティ：none
 - ストップビット：1
 - フロー制御：none
2. VT-100 のエミュレーションが可能な端末エミュレーションプログラムが起動していることを確認し、スイッチの電源を入れます。
3. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められます。管理者のユーザ名及びパスワードを入力し、ログインします。初期値はいずれも「admin」が設定されています。

※R1.20 より古い FW バージョンをご利用の場合、パスワードの初期値は空欄になります。

4. ファームウェアをアップグレードするには、以下のコマンドを実行します。

コマンド	説明
copy tftp://location/filename flash: filename	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
boot image filename	Boot up イメージファイルの変更をします。
show boot	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
reboot	スイッチをリブートします。

5. 次の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

(1) ファームウェアを本製品にダウンロードします。

```
Switch#copy tftp: //10.90.90.91/ DGS-1510_Run_1_60_B025.had flash: DGS-1510_Run_1_60_B025.had
```

```
Address of remote host [10.90.90.91]?
```

```
Source filename [DGS-1510_Run_1_60_B025.had]?
```

```
Destination filename [DGS-1510_Run_1_60_B025.had]?
```

```
Accessing tftp://10.90.90.91/DGS-1510_Run_1_60_B025.had...
```

```
Transmission start...
```

```
Transmission finished, file length 10226968 bytes.
```

```
Please wait, programming flash..... 100 %
```

```
Please wait, programming flash for language files..... Done.
```

(2) ブートイメージを指定します。

```
Switch# configure terminal
```

```
Switch (config)#boot image DGS-1510_Run_1_60_B025.had
```

(3) 現在のブートファイルを確認します。

```
Switch (config)#show boot
```

```
Unit 1
```

```
Boot image: /c:/ DGS-1510_Run_1_60_B025.had
```

```
Boot config: /c:/config.cfg
```

```
Switch (config)#end
```

(4) スイッチを再起動します。

```
Switch #reboot
```

```
Are you sure you want to proceed with the system reboot? (y|n) y
```

```
Please wait, the switch is rebooting...
```

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

Web-UI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. ブラウザを起動し、システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。
デフォルトのシステム IP アドレス：10.90.90.90
デフォルトのユーザ名：admin
デフォルトのパスワード：admin

※R1.20 より古い FW バージョンをご利用の場合、パスワードの初期値は空欄になります。
3. [Tools] メニューから[Firmware Upgrade & Backup]を選択します。



HTTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

- (1) [Firmware Upgrade from HTTP]を選択します。
- (2) [参照]をクリックしてローカルPC内のファームウェアファイルを指定 →[Destination File]にファームウェアが保存される場所とファームウェアのファイル名を入力します。



Destination File：ファームウェアの保存場所とファイル名を入力します。
(例：DGS-1510_Run_1_60_B025.had)

※Destination File のパスは¥記号使用不可。(設定例：c:/firmware/DGS-1510_Run_1_60_B025.had)

※スイッチのルートディレクトリに保存する場合はフォルダパス (c:/) 省略可。

- (3) [Upgrade]をクリックします。
- (4) ファームウェアのアップグレードが開始され、進行状況を示す画面が表示されます。
そのままお待ちください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- (5) アップグレードが完了したことを示すメッセージ (「Done.」) が表示されます。手順 4 に進んでください。

TFTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

(1) [Firmware Upgrade from TFTP]を選択します。

(2) 以下の画面で必要事項を入力します。

TFTP Server IP : IPv4 または IPv6 を選択し、TFTP サーバの IP アドレスを入力します。

Source URL : TFTP サーバのパスとファームウェアのファイル名を入力します。

(例 : DGS-1510_Run_1_60_B025.had)

Destination URL : ファームウェアの保存場所とファイル名を入力します。

(例 : DGS-1510_Run_1_60_B025.had)

※Destination URL のパスは*記号使用不可。(設定例 : c:/firmware/DGS-1510_Run_1_60_B025.had)

※スイッチのルートディレクトリに保存する場合はフォルダパス (c:/) 省略可。

(3) [Upgrade]をクリックします。

(4) ファームウェアのアップグレードが開始され、進行状況を示す画面が表示されます。そのままお待ちください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

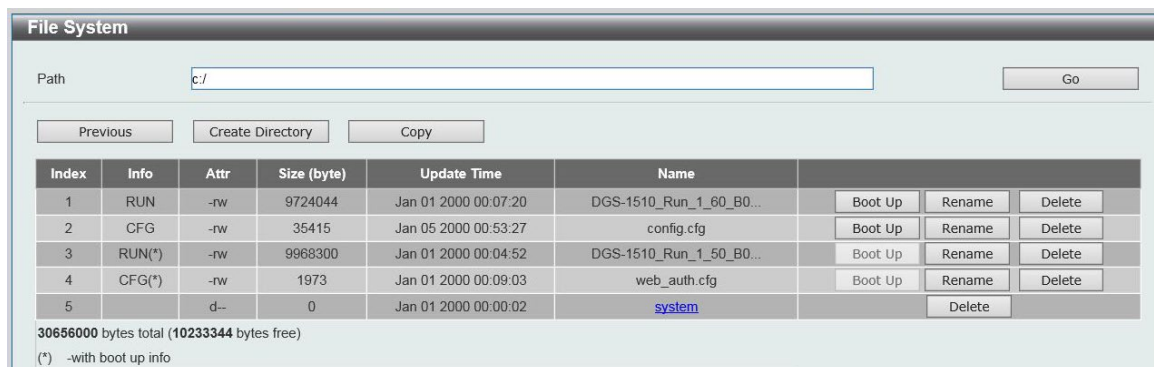
(5) アップグレードが完了したことを示すメッセージ (「Done.」) が表示されます。ポップアップ画面を閉じ、手順 4 に進んでください。

4. WebUI 画面左側のメニューで[Management] → [File System]を選択します。

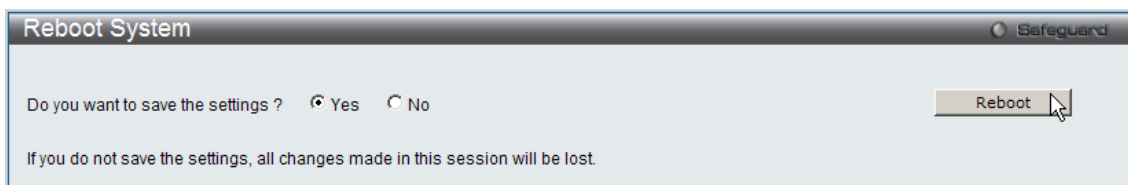
5. [Path]にファームウェアを格納した場所のパスを入力し[Go]をクリックします。
または、[Drive]欄のリンクをクリックします。

Drive	Media Type	Size (MB)	File System Type	Label
C:	Flash	29	FFS	

- 新しいイメージファイルの[Boot Up]をクリックし、ブートアップファイルに指定します。



- [Tools]→[Reboot System]をクリックします。
- 以下の画面で「OK」ボタンをクリックし、スイッチを再起動してください。



- 再度ログインし、ファームウェアがアップグレードされていることを確認します。

追加機能 :

ファームウェアバージョン	追加機能
R1.60.B025	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンフィグファイルのフォーマットを更新致しました。 2. WEB ページにおける Java スクリプトの利用を停止致しました。 3. IGMP snooping v3 に対応致しました。 4. MLD snooping v2 に対応致しました。 5. do コマンドを追加致しました。 6. IPv4 インタフェースのセカンダリ IP 設定に対応致しました。 7. closed 状態の TCP/UDP ポートに対する応答を有効/無効にする設定を追加致しました。 8. レイヤ 3 IP マルチキャストの設定に対応致しました。 9. "debug show tech-support"コマンドで unit オプションに対応致しました。 10. "boot image"コマンドでスタック全ユニットを指定する all オプションに対応致しました。

MIB の変更点 :

ファームウェアバージョン	MIB ファイル	変更点
R1.60.B025	DLINKSW-NETWORK-PROTOCOL-PORT-PROTECT.mib	新規追加
	DLINKSW-IPMCAST-EXT-MIB.mib	新規追加

D-View モジュールの変更点 :

ファームウェアバージョン	変更点
R1.60.B025	特になし

コマンドラインインタフェースの変更点 :

ファームウェアバージョン	変更点
R1.60.B025	<ol style="list-style-type: none"> 1. "show running-config"の出力結果のフォーマットを更新致しました。 2. "debug show tech-support"コマンドで unit オプションに対応致しました。 3. "boot image"コマンドでスタック全ユニットを指定する all オプションに対応致しました。

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R1.60.B025	<ol style="list-style-type: none"> 1. Voice VLAN が有効化され、LLDP-MED 対応デバイスに接続されている場合、クライアントが DHCP サーバから IP アドレスを取得できない問題を修正致しました。 2. Internet Explorer を使用している場合、VLAN インタフェース設定を保存しようとする HTTP 404 エラーが発生する問題を修正致しました。 3. 管理インタフェースへのセッションタイムアウトが適切に動作しない問題を修正致しました。 4. 削除されたデフォルトの admin アカウントが、スイッチ再起動後に復活する問題を修正致しました。 5. VLAN 設定のクローン機能によるコピーが適切に動作しない問題を修正致しました。 6. スタックスイッチにおいて RADIUS 認証が正しく動作しない問題を修正致しました。 7. DHCP スヌーピングの Entry Limit を変更後、ネットワーク応答不可となる問題を修正致しました。 8. IPv6 hop-by-hop パケットにより、トラフィック送信が不可となる問題を修正致しました。 9. PoE Utilization で誤った値が表示される問題を修正致しました。 10. CLI/WEB 間の MAC アドレスフォーマットを統一しました。 11. スイッチ再起動後に生成した SSH 鍵が保持されない問題を修正致しました。 12. admin 権限のアカウント削除時に警告メッセージを表示するように修正致しました。 13. mac-auth 機能において、認証情報に関する SNMP Trap の OID の一部が誤っていた問題を修正致しました。 14. 128 ビットの IPv6 プレフィックスが設定可能である問題を修正致しました (64 ビットのみサポート)。 15. VLAN ID が変更された後、DHCP スヌーピングバインディングエントリの VLAN ID が更新されない問題を修正致しました。 16. IP ソースガードが有効になっている場合、DHCP パケットが適切に処理されない問題を修正致しました。 17. パスワードや権限レベルの変更後、デフォルトのアカウント設定が適切に処理されない問題を修正致しました。 18. MAC ベース認証において、Radius リクエストパケットに不適切なアトリビュート値が含まれる問題を修正致しました。 19. VLAN 設定を適用後、編集画面で設定値が正しく表示されない問題を修正致しました。 20. DHCP スヌーピング及び Voice VLAN が有効化されている場合、DHCP パケットが Voice VLAN に基づいて処理されない問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題点
R1.60.B025	<ol style="list-style-type: none"> 1. System Name の頭文字を数字にできない問題。(制限事項) 2. IPv4 IGMP Snooping、IPv6 MLD Snooping 機能において、Router Port へ Multicast Stream を Flooding する機能は含まない問題。(制限事項) 3. IPv6 をご利用の環境において、Radius Server 間の認証に Stateless IPv6 Address を使用する場合がありますため、Radius Server には Static IPv6 Address と Stateless IPv6

	Address を登録する必要がある問題。
4.	Storm Control の機能において、Multicast を指定した場合、IPv4、IPv6 の予約 MAC Address(VRRP、OSPF、IGMP、MLD など)に対して制限が適用されない問題。(制限事項)
5.	物理スタック構成において、スレーブユニットの時刻が正しく取得されない問題。
6.	R1.50.B029 及びそれより古いバージョンをご利用の機器に、R1.60.B025 の設定を読み込むことができない問題。
7.	R1.60.B025 から R1.50.B029 及びそれより古いバージョンへのダウングレードにおいて設定を引き継ぐことができません。
8.	R1.50.B029 及びそれより古いバージョンをご利用の機器に、R1.60.B025 のコンフィグをリストアすることができません。 (R1.50.B029 及びそれより古いバージョンから R1.60.B025 への設定の引継ぎは問題ありません。)

Copyright 2006-2019 D-link Japan K.K.